

FileMaker 13.0v9の 修正点に関する考察

2015/04/18

FM-Tokyo ライトニングトーク発表資料

松尾篤（株式会社エミック）

Agenda

- FileMaker 13.0v9について
- アップデータの影響および注意点
- FileMaker 13.0v9の修正点に関する考察

FileMaker 13.0v9について

13.0v9 アップデータ

- 2015年4月7日にリリース
 - FileMaker Pro 13.0v9
 - FileMaker Pro 13.0v9 Advanced
 - FileMaker Server 13.0v9

13.0v9はセキュリティ修正

- “FileMaker 13 プラットフォームの潜在的な SSL の問題を解決”

http://filemaker-jp.custhelp.com/app/answers/detail/a_id/14307

ナレッジベースの記述より

- 影響：“潜在的な SSL の問題によってネットワーク通信が危険にさらされる可能性があります”

http://filemaker-jp.custhelp.com/app/answers/detail/a_id/14363

ナレッジベースの記述より

- 説明：“FileMaker のルート SSL 証明書の問題によってネットワーク通信が危険にさらされる可能性があります。この問題は、アプリケーション UI と FileMaker セキュリティ証明書の更新によって解決されました。”

Goとバージョン12用の 更新は後日

- FileMaker Go 13.0.9とバージョン12向けのセキュリティ更新は4/7の約2週間後に（おそらく来週）リリースされる予定
- FileMaker Go 12の修正版は出ないのでSSL利用時にはFileMaker Go 13に要移行

証明書に関する説明に変化 (Admin Console)

- “デフォルトでインストールされる標準の FileMaker SSL 証明書はテスト用にのみ利用できます。実際に使用する場合はカスタム SSL 証明書が必要です。”

接続の保護

SSL (Secure Sockets Layer) を使用してデータベースサーバーと FileMaker Pro、Go クライアント、または FileMaker Web 公開エンジン間で渡されるデータを暗号化します。プログレッシブダウンロードはクライアントがダウンロードしながらインタラクティブコンテンツを使用できるようにします。プログレッシブダウンロードは [保護された接続が必要] 設定が有効でも暗号化されていない HTTP 接続を使用します。この設定に変更を適用するにはデータベースサーバーを再起動してください。

警告: デフォルトでインストールされる標準の FileMaker SSL 証明書はテスト用にのみ利用できます。実際に使用する場合はカスタム SSL 証明書が必要です。 [FileMaker でサポートされる証明機関 \(CA\)](#) からカスタム SSL 証明書を取得してください。

アップデートの影響

および注意点

Pro 13.0v9からサーバーに 接続できない場合が存在

- 証明書未購入でSSLを有効にしている
FileMaker Server 13（かつバージョン
13.0v9に未更新の場合）
- SSLを有効にしているFileMaker Server 12
（セキュリティ更新未適用の場合）

アップデート手順に要注意

- 接続できないケースに該当する場合
 - 先にFileMaker Serverをアップデート
 - サーバーをアップデートした後にFileMaker Pro/Goを13.0v9/13.0.9に更新

アップデート手順を 気にする必要がないケース

- FileMaker Serverを使用していない場合
- FileMaker ServerでSSL（保護された接続が必要）を有効化していない場合
- FileMaker Server 13で認証局から購入した証明書を使用している場合

SSL利用時の留意点

- 暗号化通信の実現には認証局から証明書を購入する必要がある
- FileMaker製品でサポートされているSSLサーバー証明書は限られている

http://filemaker-jp.custhelp.com/app/answers/detail/a_id/12130

SSL対応手順概要

- 認証局からSSLサーバー証明書を購入
- `fmsadmin certificate` コマンドで証明書を
読み込み、 [保護された接続が必要]
設定を有効化
- データベースサーバーを再起動

クライアントからの接続時

- FileMaker ProやFileMaker GoからServerに接続する際にはSSLサーバー証明書のコモンネーム (FQDN) を使用する

FileMaker 13.0v9で 修正された内容とは

発表者は今回修正された問題の発見者・報告者ではありません。なるべく事実に基づいた説明に努めていますが、一部推測に基づく部分が含まれている点にご留意ください。

とあるルート証明書が 削除されている

- バージョン13.0v9ではFileMaker ルート証明書（filemaker-ca.pem）が削除されている
- このためサーバー側の証明書も更新する必要がある場合がある

13で追加されたものだった

- “FileMaker 13 には、新しい FileMaker サーバ証明書とルート証明書が発行されます
(サーバ証明書は、サーバにインストールされ、ルート証明書は、FileMaker Pro と FileMaker Go にインストールされます。)”

http://filemaker-jp.custhelp.com/app/answers/detail/a_id/12939

不正なルート証明書は危険

- 信頼できないルート証明書が組み込まれていると暗号化通信が事実上無効化される（異常を検知できなくなる）
- FileMaker ProとFileMaker Goに含まれるFileMaker ルート証明書の削除が更新の主目的と推測される

まとめ

SSLを使うのであれば

- FileMaker Proはバージョン13.0v9に、FileMaker Goは13.0.9に必ず更新
- デフォルトのSSLサーバー証明書ではなく認証局から購入した証明書を使う
- SHA-2版SSLサーバー証明書対応を考慮するとFileMaker Serverも13.0v9に要更新

関連URL

- iPad & iPhoneからのリモートアクセスをより安全にするネットワーク構築術

<http://www.famlog.jp/article/2630>

- FileMaker Pro 13.0v4のロックアイコンについて

<http://www.famlog.jp/article/2617>